



奏 **KaNaDe**[®]

KaNaDe03

¥20,000(4個・税込) ※直販およびAmazonより販売中

●材質:特殊開発の樹脂●サイズ:50mmφ×13.05Hmm●質量:約55g(1個)
 ※「KaNaDe01」からのリユース加工は、製品をメーカーにあずけて¥4,000(4個)で追加工。「KaNaDe03」の3つの特徴のうち2つを追加。メールや電話にて受け付け中
 kanade@e-kanai.com / 0480-58-3311
 ※「03」をかさ上げするためのφ50アンダースペーサー「KaNaDe01 under」は¥9,000(4個)で発売中

すべての楽器に命が宿る

奏インシュレーターに第3世代モデルが登場

全ての音楽表現を包括できる 最新バージョンがついに登場

Text by 林 正儀
 Masanori Hayashi
 Photo by 田代法生

夢の複合材インシュレーター「KaNaDe」シリーズに、新しい仲間が加わった。初代の「KaNaDe01」、そして前号で紹介したばかりの「02」に続く第3のインパクトは、その名もズバリ「KaNaDe03」である。常識やぶりの開発スピードだが、ブレーキ摩擦材技術のエキスパートであり、そして5年の歳月をかけすべての楽器に命が宿る最適な配合比(8種のマテリアル)を見出した金井製作所、インシュレーター部の小林 満さんの情熱なら、それも不可能ではないと気がついた。

「03」は「01」の進化型
 どの音源もカバーできる効果

金井製作所のインシュレーター「KaNaDe」シリーズに関して、おさらいをしておこう。2016年に登場した「01」は十字の溝を持つフェルト付きの製品だ。サイズφ50mmの薄型で、その加工精度はまさにマイクロの世界。ほんのわずかな誤差で音のピッチが狂ってしまうデリケートなものだ。

ブックシェルフスピーカー用に開発された「02」は1個で使うもの。フェルトなしの大型の100mmのタイプである。

今回の「03」も興味津々なのだが、実は「01」を徹底的に研究した進化バージョンだった。形状やサイズはほぼ共通だが、一体どこが違うのか?その前に「01」には「ワイド」「アニソン」という系列モデルがあるのを思い出して欲しい。これは音場を変えたバリエーションで、「01」ではカバーしきれない音楽ジャンルに対応するものだ。「例えばオケの場合、ちよっと中による傾向があります。もっと広げられないかなと、ワイドを作りましたね。アニソンは電子音楽で、あまり広げると音がぐしゃぐしゃになるので、前後感をな